



第98期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

DIJET®



ダイジェット工業株式会社

証券コード：6138

● 株主の皆様へ



代表取締役社長 生悦住 歩

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、ここに、当社第98期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

2024年6月

事業の概況

当連結会計年度における我が国経済は、社会経済活動の正常化による景気の緩やかな回復が期待される一方で、ウクライナや中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、原材料やエネルギー価格の高止まり、中国経済の減速懸念等が及ぼす影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

さらに当社グループを取り巻く経営環境につきましては、自動車産業では半導体不足の解消や円安による改善が継続したものの、一部自動車メーカーの工場停止やリコール等の影響もあり、販売の伸びは徐々に縮小しており、工作機械につきましても世界的な需要の落ち込みから低調な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおきましては、海外向けの販売は円安の影響もあり増加したものの、国内向けの販売は製品納入先の在庫調整等により落ち込み、前連結会計年度より販売は低調となりました。

切削工具につきましては、金型業界向けに小径・多刃仕様で高効率率加工を実現する「SKSエクストリームEXSKS05形」を販売し、航空機産業やEV化で近年加工需要が急増しているアルミ加工向けには、小径・多刃仕様で高速加工が可能な「エアロチップーミニMAM形」を販売する等、顧客のニーズに応えるべく新たな工具を発売いたしました。

また耐摩耗工具につきましては、当社独自の開発材料であるサーメタルに関しまして、これまで製作上問題のあった形状の加工精度をクリアすることで、新たな用途向けに展開することができるようになり、その特長を活かして従来の金型では対応できない領域で成果を挙げております。

連結売上高は、前年同期比5.2%減の8,344百万円となりました。このうち国内販売は前年同期比12.6%減の3,588百万円となり、輸出は同1.3%増の4,755百万円となりました。輸出の地域別では、北米向けが前年同期比1.8%増の1,080百万円、欧州向けが同7.6%増の1,358百万円、アジア向けが同2.0%減の2,291百万円、その他地域向けが同29.0%減の26百万円

となり、この結果、連結売上高に占める輸出の割合は、前年同期に比べ3.6ポイント増加し57.0%となりました。

製品別では、焼肌チップが前年同期比21.9%減の529百万円、切削工具が同3.1%減の6,886百万円、耐摩耗工具が同11.5%減の881百万円となりました。

収益面では、売上高の減少や売上原価率が悪化したこと等により、営業利益は前年同期比61.1%減の112百万円、経常利益は前年同期比44.2%減の174百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は130百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益362百万円）となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、当初の予定どおり1株につき25円とさせていただきます。

今後の見通し

わが国産業におきましては、社会経済活動の正常化による景気の緩やかな回復が期待される一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢や中東問題、世界的な金融引き締めによる景気減速のほか、国内における物価上昇によるコスト増加や人手不足の深刻化による影響等が懸念されており、今後も不透明な経営環境が続くことが予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き、より収益性が高く、効率的な事業活動の基盤を構築するために、以下の取組みを推進してまいります。

- 1) 販売体制の強化
 - ・得意商品の受注生産体制の確立
 - ・国内における得意商品の拡販と、得意商品を創造・育成する国内販売体制の構築
 - ・海外拠点と本社の連携強化と持続可能な世界販売体制の整備
 - ・マーケティング戦略に基づく自社製品の強みに適合した市場の開拓
- 2) 収益性の向上・生産技術力の強化
 - ・原材料等の価格上昇リスクにも対応できる原価低減の徹底
 - ・自動化と業務効率改善による製造工程の短縮・生産性の最大化
 - ・アワーレートの低減やプロダクトライフサイクルに基づいた製品管理
- 3) 新製品の開発促進
 - ・「高速・高効率・高精度」をキーワードとした最速製品化を実現できる新製品開発体制の再構築
 - ・ユーザーニーズに即した提案型商品、革新的なオリジナル商品およびコア商品の開発推進
 - ・環境負荷低減・EV化部品等に対応した次世代製品の開発
- 4) 人事労務施策の推進
 - ・新人事評価制度の定着による人材育成の促進
 - ・働き方改革および健康経営推進による生産性の向上と労働環境の整備
 - ・女性活躍推進への取組み
- 5) 社会的責任への対応
 - ・持続可能な企業価値の向上のため、コーポレートガバナンスの更なる充実
 - ・コンプライアンス体制の整備および運用の徹底
 - ・リスクマネジメント体制の推進
 - ・大規模自然災害への対策推進
 - ・ESGを重視したサステナブル経営の推進

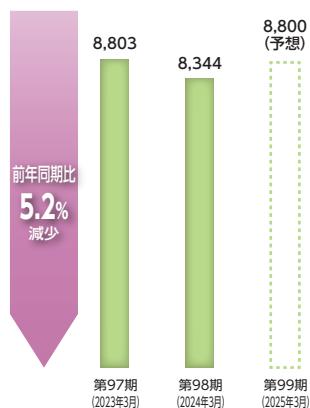
これにより、当社グループの第99期連結業績予想は、売上高は8,800百万円、営業利益は300百万円、経常利益は300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は250百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 連結決算ハイライト

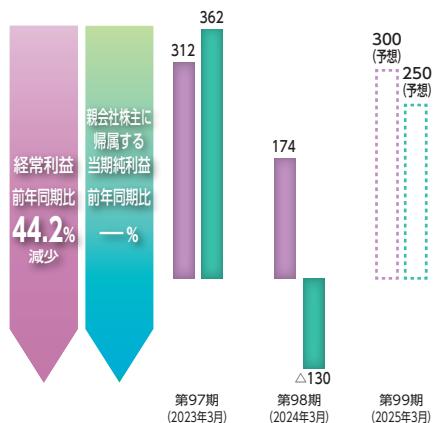
▶ 売上高

(百万円)



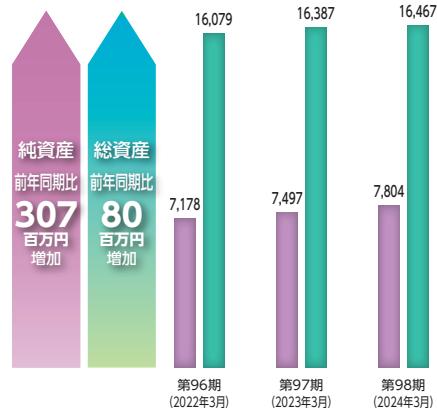
▶ 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失

(百万円)



▶ 純資産/総資産

(百万円)

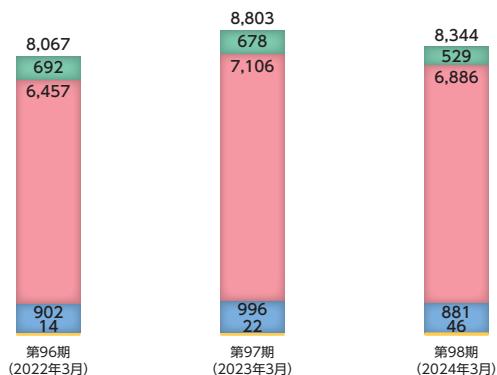


■ 売上高の推移

▶ (1) 製品別売上高

(百万円)

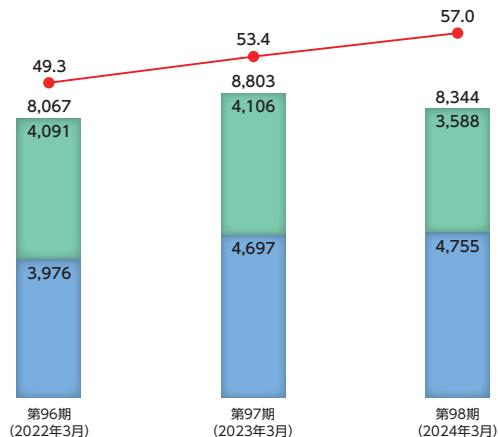
■ 焼肌チップ ■ 切削工具 ■ 耐摩耗工具 ■ その他



▶ (2) 海外売上高

(百万円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率 (%)



● 連結財務諸表（要旨）

■ 連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 2023年3月31日	当連結会計年度 2024年3月31日
1 資産の部		
流動資産	8,573,432	8,768,992
固定資産	7,813,828	7,698,410
有形固定資産	5,762,580	5,443,071
無形固定資産	248,678	221,616
投資その他の資産	1,802,569	2,033,721
資産合計	16,387,261	16,467,402
2 負債の部		
流動負債	4,259,468	3,979,649
固定負債	4,630,414	4,683,093
負債合計	8,889,883	8,662,743
3 純資産の部		
株主資本	6,822,468	6,617,172
資本金	3,099,194	3,099,194
資本剰余金	1,703,329	1,703,329
利益剰余金	2,066,506	1,861,240
自己株式	△46,561	△46,592
その他の包括利益累計額	674,909	1,187,486
純資産合計	7,497,378	7,804,659
負債純資産合計	16,387,261	16,467,402

■ 連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	当連結会計年度 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
4 売上高	8,803,371	8,344,294
売上原価	5,879,780	5,637,600
売上総利益	2,923,591	2,706,694
販売費及び一般管理費	2,635,238	2,594,595
5 営業利益	288,352	112,099
営業外収益	127,506	172,781
営業外費用	103,666	110,617
5 経常利益	312,192	174,263
特別利益	80,081	4,938
特別損失	2,474	32,287
税金等調整前当期純利益	389,798	146,915
法人税、住民税及び事業税	94,549	41,972
法人税等調整額	△67,035	235,913
当期純利益又は純損失(△)	362,284	△130,970
5 親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(△)	362,284	△130,970

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	当連結会計年度 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	692,190	718,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,349	△263,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341,689	△343,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,169	37,941
現金及び現金同等物の増減額	38,320	149,341
現金及び現金同等物の期首残高	1,202,304	1,240,625
現金及び現金同等物の当期末残高	1,240,625	1,389,966

【連結財務諸表（要旨）】ポイント

■ 連結貸借対照表

POINT① 資産の部⇒80百万円増加

【流動資産 195百万円増加】

現金及び預金149百万円、受取手形及び売掛金121百万円各増加。

棚卸資産82百万円減少。

【固定資産 115百万円減少】

減価償却費の計上により942百万円減少、設備投資の実施により638百万円、株価上昇による投資有価証券の評価額305百万円各増加。

POINT② 負債の部⇒227百万円減少

【流動負債 279百万円減少】

電子記録債務206百万円、支払手形及び買掛金75百万円各減少。

【固定負債 52百万円増加】

繰延税金負債207百万円、長期借入金128百万円各増加。

退職給付に係る負債236百万円、リース債務45百万円各減少。

POINT③ 純資産の部⇒307百万円増加

【株主資本 205百万円減少】

親会社株主に帰属する当期純損失130百万円計上。

【その他の包括利益累計額 512百万円増加】

為替の影響および株式の時価評価等による増加。

■ 連結損益計算書

POINT④ 売上高⇒5.2%減少

国内は12.6%減少、海外は北米向けが1.8%、欧州向けが7.6%各増加。アジア向けが2.0%減少。海外売上比率は3.6ポイント増加し、57.0%へ増加。

POINT⑤ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純損失

主に国内の売上高が減少したこと等により利益が大幅に減少。繰延税金資産の取り崩しに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を大幅に下回り、損失を計上。

● 個別財務諸表（要旨）

■ 貸借対照表

(単位：千円)

	前 期 2023年3月31日	当 期 2024年3月31日
資産の部		
流動資産	7,698,949	7,648,575
固定資産	7,804,741	7,713,913
有形固定資産	5,753,090	5,435,553
無形固定資産	244,233	218,049
投資その他の資産	1,807,416	2,060,310
資産合計	15,503,690	15,362,488
負債の部		
流動負債	4,206,803	3,916,449
固定負債	4,632,999	4,800,545
負債合計	8,839,803	8,716,994
純資産の部		
株主資本	6,243,307	5,991,239
資本金	3,099,194	3,099,194
資本剰余金	1,703,329	1,703,329
利益剰余金	1,487,345	1,235,308
自己株式	△46,561	△46,592
評価・換算差額等	420,580	654,254
その他有価証券評価差額金	420,580	654,254
純資産合計	6,663,887	6,645,494
負債及び純資産合計	15,503,690	15,362,488

■ 損益計算書

(単位：千円)

	前 期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	当 期 自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
売上高	8,268,183	7,700,842
売上原価	5,915,462	5,658,231
売上総利益	2,352,720	2,042,611
販売費及び一般管理費	2,148,490	2,041,306
営業利益	204,230	1,304
営業外収益	101,224	146,122
営業外費用	103,652	110,617
経常利益	201,802	36,809
特別利益	80,081	4,938
特別損失	2,474	32,287
税引前当期純利益	279,408	9,461
法人税、住民税及び事業税	57,000	12,000
法人税等調整額	△11,677	175,204
当期純利益又は純損失(△)	234,086	△177,742

● トピックス

見本市

当事業年度におきましては、国内外の工作機械・機械工具関連の見本市に積極的に出展いたしました。

国内では、4月に東京ビッグサイトにて開催されました金型加工技術展「INTERMOLD2023 東京」、10月にポートメッセなごやにて開催されました中部地区最大の工作機械見本市「メカトロテックジャパン2023」に出展し、お客様の加工改善につながる最新工具の展示を行いました。また、7月に東京ビッグサイトにて開催されました「MF-TOKYO2023」には耐摩耗用工具を出展したほか、海外でも、6月にドイツ・シュトゥットガルトで開催されました「MOULDING EXPO2023」や、9月にドイツ・ハノーファーで開催されました「EMO2023」にも出展し、販路の拡大につとめました。



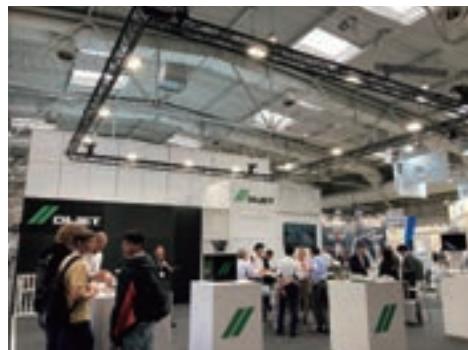
メカトロテックジャパン2023



MF-TOKYO2023



MOULDING EXPO2023



EMO2023

新製品

当事業年度におきましては、主力の金型加工用工具やアルミ加工用工具において、新製品の発売やラインナップ拡張を実施しました。主な新製品は次のとおりです。

■『SKSエクストリーム EXSKS05形』

両面6コーナの高送り工具SKSエクストリームの小型インサート版で、小径多刃仕様とすることで加工能率が改善され、抜群の切りくず排出量を実現。

※環境調和製品に認定



■『エアロチップパーミニ MAM形』

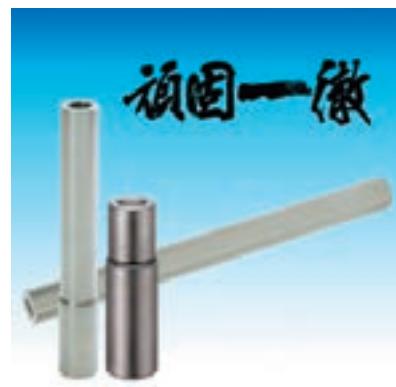
アルミ加工において好評であった「エアロチップパー」に、小型インサート採用かつ小径多刃仕様のモジュラーヘッドがラインナップに追加。



頑固クラブの設立

超硬シャンクアーバ「頑固一徹MSN形」をお使いのお客様に更なるファンになっていただく目的で「頑固クラブ」を10月に設立。

様々な特典を用意し、会員の募集を開始いたしましたところ、ユーザー様には大変ご好評いただいております。



● トピックス

環境・社会活動

当社は、地球環境の保全、汚染の予防を認識し、循環型社会の視点（3R：Reduce、Reuse、Recycle）に立った事業活動を展開し、環境保全に取り組んでおります。

当事業年度におきましては、ISO14001の取組みとして、「消費エネルギーの削減」、「化学物質リスクの低減」、「環境にやさしいものづくり」、「日常業務を通じた環境改善」、「廃棄物の管理および削減」、「資源の有効利用」などをテーマとした中期3ヵ年計画（2022年度～2024年度）に則り、各部門・事業所ごとに目標達成に向けて年度目標を設定して取り組みました。

新製品開発においても、日本機械工具工業会が選定する「環境調和製品認定制度」に積極的に取り組み、当事業年度は3点の新製品が認定され、認定数は通算で83点となりました。

また、社員による地域美化運動にも取り組み、地域社会とのコミュニケーションを積極的に図っております。

当社では、今後も引き続き、より一層環境保全への継続的改善に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。



株主の皆様宛に発送および当社ウェブサイトに掲載いたしました第96期～第98期の中間報告書に記載しておりました、環境調和製品の通算の認定数に誤りがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、下記に正しい通算の認定数を記載いたします。

なお、当社ウェブサイトに掲載しております第96期～第98期の中間報告書は、下記訂正を反映しております。

	第96期 (2021年10月時点)		第97期 (2022年10月時点)		第98期 (2023年10月時点)	
	誤	正	誤	正	誤	正
通算認定数	85点	77点	88点	80点	91点	83点

● 株式情報 (2024年3月31日現在)

■ 株式の状況

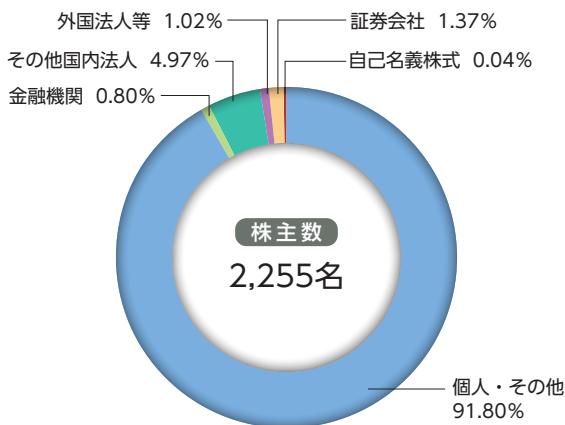
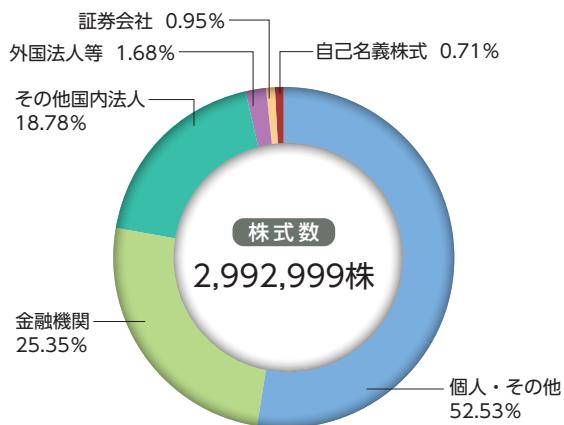
発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	2,992,999 株
株主数	2,255 名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダイジエット取引先持株会	230	7.76
ダイジエット持株会	155	5.24
株式会社 みずほ銀行	147	4.97
シルバーロイ株式会社	146	4.94
生悦住歩	128	4.33
株式会社 三菱UFJ銀行	124	4.19
ダイジエット共栄会	90	3.04
明治安田生命保険相互会社	85	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	83	2.80
共栄火災海上保険株式会社	82	2.79

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(21,250株)を控除して算出しております。

■ 株式の分布状況



● 会社情報 (2024年6月26日現在)

■ 会社の概要

社名	ダイジェット工業株式会社 (DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.)
設立	1950年12月
資本金	3,099,194,104円
従業員数	449名 (うちパート等 89名)
事業内容	超硬合金、超硬工具の製造販売



■ 役員の状況

代表取締役社長		生悦住	あゆむ 歩
常務取締役	経営企画部長	古林	ゆう 雄
取締役	総務部長兼経理部長	安藤	のぶ 夫
取締役	三重事業所長	藤井	しげ 光
取締役	常勤監査等委員	井川	たか 夫
取締役(社外)	監査等委員	小島	ひで 秀
取締役(社外)	監査等委員	ひら井	みつる 満

ホームページのご案内



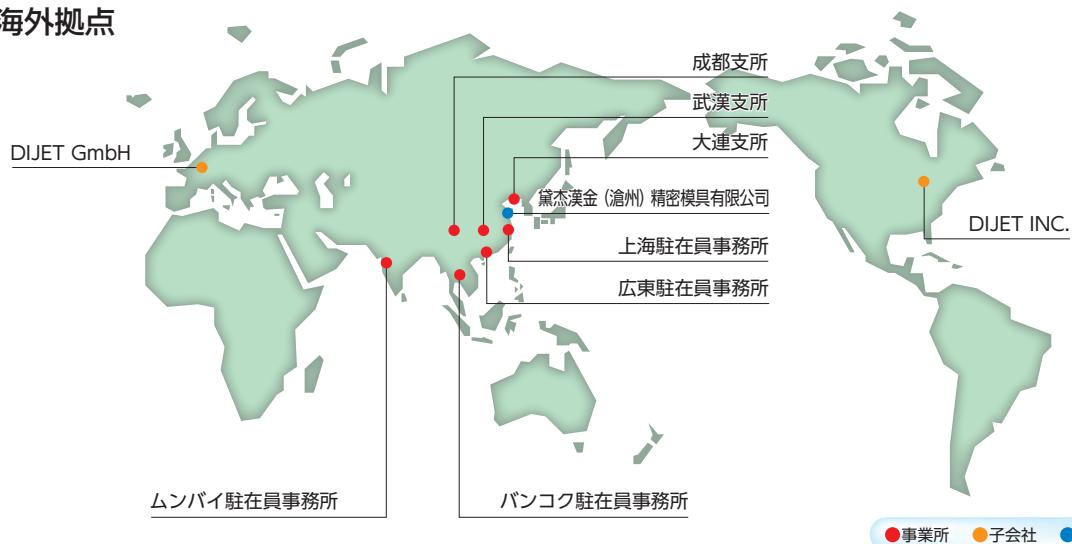
<https://www.dijet.co.jp/>

● 事業所および主な子会社 (2024年6月26日現在)

■ 国内拠点



■ 海外拠点



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月中		
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日	
	期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
	その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日		

公告方法 電子公告 <https://www.dijet.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先
および連絡先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)

〔株式に関する〕
各種お手続き 届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取・買増請求などにつきましては、口座開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主様は、上記の特別口座の口座管理機関（みずほ信託銀行株式会社）へお届ください。

なお、未受領配当金（ゆうちょ銀行の払渡期間経過後）のお支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人（みずほ信託銀行株式会社）までお申出ください。

単元未満株式の買取・買増請求のご案内

当社の単元株式数は100株となっておりますので、100株未満の単元未満株式は市場で売買することができます。

単元未満株式をご所有の株主様は当社に対して単元未満株式を売却する（買取請求）、または単元株式となるよう不足する株数の株式を当社より購入する（買増請求）ことができます。

お申出先につきましては、左記の株主メモをご参照ください。

（例）



当社株式を80株ご所有の場合、20株を市場価格で当社から購入し、100株にする。



DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.

〒547-0002

大阪市平野区加美東2丁目1番18号

TEL.06 (6791) 6781 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。